

# 『ぱんだより』



※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。  
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第55号(2010年5月31日)「中国市場動向2010年4月」



## 世界一の自動車大国

中国自動車工業協会によると、今年1-4月の新車生産、販売台数はいずれも600万台を超え、すでに昨年1-6月半年の台数を上回っています。

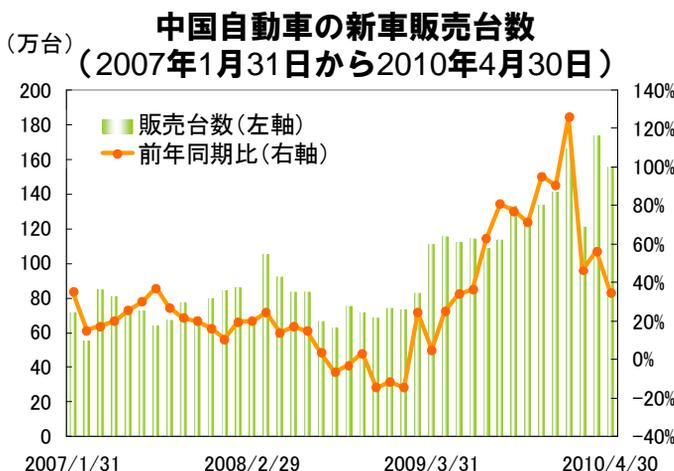
2010年4月の新車販売台数は前年同期比でやや低い水準の34.9%となりましたが、2009年に続き、2010年の販売台数も世界一を維持する見込みです。4月の前年同期比の下落は中国の自動車市場の衰退を意味しているわけではなく、2009年4月からの急成長により、伸び率がやや鈍化しているものと思われます。

しかし自動車市場の急成長により、一部の都市においては、渋滞がひどく、逆に自動車通勤が不便では？との声もあるようです。今後はマイカー需要のみならず、渋滞事情からも目が離せません。

## 一定のシェアを獲得した日系メーカー

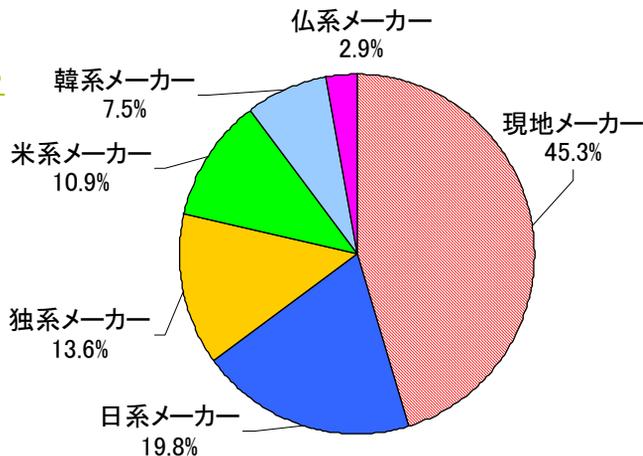
内需の拡大とともに、中国ではマイカーへの憧れが高まっています。この巨大な市場を睨み、世界各地の自動車メーカーが中国での事業戦略を重要な経営課題として掲げています。現在海外自動車メーカーが中国に進出する際は規制もあり、現地メーカーと合弁会社を設立する形式が主流です。

中国の自動車市場では、右図のように、現地メーカーが近年拡大しましたが、市場シェアはまだ半分以下にとどまっています。2位につけている日系企業の今後の動向に注目です。



出所: 中国自動車工業協会、2010年5月24日現在

## 国別メーカーの乗用車販売 (2010年4月)



出所: 中国自動車工業協会、2010年5月24日現在

注: 海外メーカーの場合は合弁会社を含む

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。





# 『 ぱんだより 』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



## 自転車大国の底力

自動車市場の拡大が目覚しい中国ですが、自転車は依然として、庶民の通勤に欠かせない重要な移動手段です。

ここ数年、世界中で注目されるようになった環境問題ですが、中国は最も二酸化炭素を排出している国の一つとして国際社会から非難され、政府も経済発展を重視しながら、環境問題へ積極的に取り組み始めています。

その一例として、最近、自転車でエコ意識を広げるイベントが行われています。参加者は、約1ヶ月半かけて北の北京から南のシンセンまで、自転車だけで移動します。途中、万博が開催されている上海に寄り、世界に自転車大国の底力をアピールするという狙いもあるようです。



出所: 中国自転車協会

## 《主要株価推移》 (各市場の直近1年間)



出所: FACTSET

(編集後記) 2009年の北京市の人口は約1800万人ですが、自転車の台数は約1000万台に上り、2人に1人以上が自転車を保有している試算になります。また、観光客や自転車を保有していない中国人のためのレンタルサイクル市場も拡大しているようです。

(告られタイ)

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。